

家庭発展 特別授業 「ロシアの人々の生活文化」

11月16日(水) ビクトリア・トルストワ先生(ロシア民族舞踊研究家)と小田 俊博先生(元大阪日ロ協会)をお招きしてロシアの生活文化について講義をしていただきました。

小田先生は、30年前にロシアへ行かれたことを契機として、地域の小学校や本校はじめ高等学校などで日露交流のための活動に尽力されています。前半は小田先生の30年にわたるロシアとの関わりと、ウクライナ侵攻や兵役について政治的な立場ではなく人として平和を大切に考えるビクトリア先生の思いを話してくださいました。後半はペチカなど衣食住を中心とした生活文化について写真を交えながら解説してくださいました。また、chrome book を活用した事前学習でロシアについての学びを深めていた生徒たちは、積極的に質問し、更に学びを深めていました。



民族衣装のサラファンを纏ったビクトリア先生。頭につけておられるのがカチューシャです。(左上) 10分休憩で被らせてもらった生徒、記念の一枚。→ビクトリア先生のサラファンはウールですが、シルクやコットンなど様々な材料で作られ、施された刺繍にもお守りの意味があるのだとか。

たい焼きカフェがロシアで流行っていて、シャシリク шашлык (BBQ) を好むロシアでは焼きとりも流行るかも?といった話や、結婚指輪は右薬指にするなど日本との類似点・相違点などいろいろ教えていただきました。

※生徒とは十分な距離をとってマスクを外し、講演していただいています。



事前学習としてボルシチ・ブリヌイ (布林チキ)・ロシアンティーを調理しました。



最後にロシア民謡に合わせて、ビクトリア先生の指導のもと、全員でダンス。(左上)

授業の終わりには、感謝の気持ちを込めてロシア風のお辞儀を。(右上)

全3回の特別授業は、異文化を知り、自国を見直すとても良い学びの場となりました。

